資　料　1

令和８年11月

令和9年度　都民安全総合対策本部　予算見積の概要

（単位：百万円）

区　　分	令和９年度（見積額）	令和８年度（予算額）	増（△）減	増減率	主な内容
都民安全総合対策本部　計	4,547	6,078	△ 1,531	△25.2%	東京都防犯機器等購入緊急補助事業を除いた前年度予算：4,419百万円（前年度比＋2.9%）
都民安全総合対策費	4,547	6,078	△ 1,531	△25.2%	
管　　理　　費	4,547	6,078	△ 1,531	△25.2%	
職　　員　　費	675	623	52	8.3%	職員の人件費、通勤手当　等
管　理　事　務　費	39	39	0	△0.1%	管理事務費　等
治 安 対 策 の 推 進	2,987	4,603	△ 1,617	△35.1%	治安対策　等
交 通 安 全 対 策 の 推 進	417	377	40	10.5%	交通安全対策　等
若 年 支 援 の 推 進	430	435	△ 6	△1.3%	若年支援　等

注：数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等に一致しない場合がある

令和9年度の主な取組　　見積額合計　45億4,683万円（60億7,800万円）

※（　　）内は令和８年度予算額

社会情勢や都民生活の変化を捉え、「治安対策」「交通安全対策」「若年支援」の３つを施策の柱として、都民の安全安心に資する施策を総合的に推進

１　治安対策の推進　　29億8,679万円（46億348万円）

・地域における見守り活動支援　19億6,653万円（20億4,791万円）

町会・自治会や商店街等の地域団体による見守り活動を支援するため、防犯設備の整備等に係る経費を補助

地域見守り活動の継続支援のため、防犯カメラや地域防犯活動の要件を満たす更新事業に対する支援を強化

新たに事業実施意向を有する地域団体等に対し、伴走型・実務支援を実施

・犯罪被害等のリスクを抱える青少年・若者への支援　4億369万円（4億354万円）

「トー横」をはじめとする歌舞伎町界隈における諸問題に対して、関係機関と連携し、効果的に取組を展開

青少年・若者を犯罪被害等から守るため、「きみまも＠歌舞伎町」で一人ひとりに寄り添い必要な支援へつなぐ等の取組を実施

・特殊詐欺対策　2億473万円（1億5,165万円）

あらゆる年齢層において被害が拡大している特殊詐欺への対策や若年層の闇バイト犯罪への加担防止に向けた啓発を実施

特に被害深刻化が顕著なSNS型投資・ロマンス詐欺に対する対策を強化

・青少年の安全なネット環境の整備　1億2,590万円（1億856万円）

共通のロゴ「ネッつグTokyo」を活用し、インターネットトラブルから青少年を守るため青少年やその保護者等を対象に各種啓発を実施

・痴漢撲滅プロジェクト　5,000万円（5,000万円）

痴漢被害のない社会の実現のため、鉄道事業者等と連携した啓発活動を行うなど、痴漢撲滅に向けた気運醸成等を実施

2 交通安全対策の推進

4億1,701万円（3億7,739万円）

・自転車総合対策　2億1,983万円（1億9,580万円）

自転車シミュレータ交通安全教室や東京都自転車安全学習アプリ「輪トレ」等、多面的な取組を通じて自転車ルール等の啓発を実施

ライフステージ別の交通安全教育を推進するため、未就学児及び保護者向けの自転車安全教育を区市町村と連携して強化

・交通弱者の安全対策　3,065万円（1,716万円）

高齢者の交通事故発生件数が依然として多いことを踏まえ、<u>高齢者に身近な媒体で生活に密着した普及啓発を実施</u>

3 若年支援の推進

4億2,966万円（4億3,535万円）

・東京都若者総合相談センター「若ナビα」の運営　1億6,886万円（1億5,921万円）

人間関係や仕事、孤独などの悩みを抱える若者等の相談を受け付け、就労・就学等の適切な支援につなぐ窓口を運営

若者ケアラー向けの相談窓口として、<u>若者ケアラー本人や周囲の関係者に対する広報を強化</u>

・子供・若者自立等支援体制整備　7,067万円（7,067万円）

社会的自立に困難を有する子供・若者の相談窓口設置や居場所の整備を行う区市町村への補助を実施